

令和6年7月19日

1 学期終業式の話

いよいよ明日から夏休みになります。みなさんの1学期はどんな1学期だったでしょうか。1学期のはじめに「信頼される人」になろう。「みんなに応援される人」になろうという話をしました。みんなは、それを意識できた1学期だったでしょうか。

今日は、バレー女子の古賀紗理那選手の話をしたと思います。10日ほど前にパリオリンピックを最後に引退すると発表しましたが、みんなは知っているでしょうか。

古賀選手は、16歳の高校2年生の時に日本代表に選ばれ、オリンピックでも活躍してきました。途中代表選手から外されたこともありましたが、東京オリンピックでは、日本代表として復帰しています。

古賀選手は、東京オリンピックの初戦、ケニアとの3セット目の試合でけがをして、救急車で病院に運ばれます。靭帯損傷はないもののすぐには復帰は難しい状況でした。お医者さんからは、痛みがひけば試合復帰可能と言われ、古賀選手は、「復帰できるのであれば、絶対やってやろう、絶対人前で「痛い」と言わない」と決めたそうです。古賀選手は、痛さをこらえ、けがの2日目から練習に合流し、7日目の韓国戦にはスタメンで出場します。しかし、試合に敗れ日本はオリンピック10位となります。

そして今回、オリンピック予選では、古賀選手がキャプテンとして日本を引っ張ります。「勝ちたいじゃなく、絶対勝つ」この言葉を合い言葉に戦ったそうです。今回の日本代表のキャプテンに選ばれたとき、その重圧で、日本代表を辞退して引退しようかとも考えたそうですが、自分の経験を後輩に伝えたいという強い思いと、言うだけのキャプテンではなくて、自分が自ら実践する人になろうと決心し、代表になったそうです。

今回の予選でも、日本女子の試合は、素晴らしい試合を見せてくれました。古賀選手も大会2位の得点率で大活躍しました。しかし、大切なカナダとの試合で負けてしまいます。もう。五輪出場はだめだとあきらめていたとき、なんとわずかなポイント差で、日本は、オリン

ピック代表に選ばれました。これは、「勝ちたいじゃなく、絶対に勝つ」という言葉の通り、1戦1戦を必死に戦ったからこそ巡ってきたチャンスだと思います。もし、今日は負けとか、このチームは強いからあきらめようと言う気持ちが少しでもあったら、オリンピックには出られていなかったかも知れません。

さて、みなさんはこれから夏休みになります。自分の生活は、自分で考え、実践に移すことが求められる43日間となります。「信頼される人」、「みんなに応援される人」とは、自分の目標に向かって頑張ったり、自分の目の前の困難に対して前向きに1歩1歩進んでいこうと努力したりする思いのある人だと思います。この夏休みのたくさんの時間を、無駄にしないように、自分でいろいろなことを決めて実践するその積み重ねを大切にして、2学期につながる充実した日を送ってほしいと思います。